

【ご参考】

絞り鉾本体

鉾本体は絞りに用いる道具「絞り金具」「ころ」「桶絞りの桶蓋」「板締め絞りの板」等を使用し、絞り職人が手作りいたしました。

- 【詳細】
- ①天水引 シルク地に古代石掛絞り、針人目絞りをを用い雲の文様を表現
 - ②見送 絞り鳥獣戯画 相撲
 - ③鉾頭 針疋田絞り、針人目絞りをを行う際に使用する絞り台の先の金具が3方に突き出し、その周りを絞りで使用する「ころ」と呼ばれる糸巻き6個が飾ります。
 - ④網隠し 針疋田絞りをを用いて雲の文様を表現。シルク地を紅に染め上げました。
 - ⑤胴掛 絞り鳥獣戯画 喧嘩、賭弓
 - ⑥裾幕 シルク地を針人目絞りをを用いて、ヨーロッパのアンティーク家具にもみられる「ロマネスク」文様を市松取りに絞りました。
 - ⑦鉾車 土台は桶絞りに用いるヒノキの蓋を使用。帽子絞り、傘巻き絞りをを用いたちりめん地を巻きつける事により、車輪の雰囲気を出しています。
 - ⑧破風 板締め絞りに用いる複雑に切り抜かれた板を使用。破風以外にも屋根の下への飾りに、この板を用いています。
 - ⑨前掛 絞り鳥獣戯画 水遊び
 - ⑩屋根 バラ疋田絞りをを用い屋根の先端に向うにつれ絞りが細かく配置されるよう表現。シルク地を黒に染め上げました。

